

## 活動のご報告

新年あけましておめでとうございます。

令和3年12月上旬～下旬のセンター活動内容について報告をいたします。

当センターの自主課題として調査を行っている「下刈時期及び立地を考慮した下刈省力化技術の開発試験」に係る試験地として福島森林管理署白河支署管内に設けた試験地調査を実施しました。

また、令和3年度、重点調査を実施している「長期育成循環施業試験」については、樹高調査及び間伐予定木の再チェックを残すのみとなっております。令和4年2月中に伐採数量等の確定を予定しております。

令和2年度にコロナ禍により中止となった森林・林業公開講座を、令和3年度12月9日に笠間市友部公民館で開催いたしました。参加者の方々には、この場を借りて御礼申し上げます。

関東森林管理局 森林技術・支援センター

## ICTを活用した調査技術についての説明会への参加

令和3年12月21日、関東森林管理局技術普及課が主催する勉強会に参加しました。

勉強会の内容としては、最新ドローンを用いた森林内空撮、作業道の三次元点群データの構築など、森林総合研究所所属の研究者から直接、説明を受けました。

通常の飛行ドローンによる調査及び林内LiDAR調査装置の林内データの結合が、林業DXの第一歩となることが解りました。



林内飛行ドローン

## 関東森林管理局長 巡閲

令和3年12月22日、新たに関東森林管理局へ着任した赤崎局長に対して、当センターが注力している課題の一つである「長期育成循環施業試験」及び「下刈時期及び立地を考慮した下刈省力化技術の開発試験」について、所長外で説明を行いました。

局長からは、積極的に各種情報の発信を行うよう指示がありました。



巡閲風景

## 「下刈時期及び立地を考慮した下刈省力化技術の開発試験」に係る調査を実施

令和3年12月23日、福島県石川郡古殿町大字大久保ヲテマ国有林1241や林小班において、冬下刈を実施した箇所における植栽木の調査を実施しました。本調査は植栽木樹高、競合植生高、樹幹幅及び地際直径の測定を実施し、下刈時期の違いが、植栽樹種にどのような影響を及ぼすのか検証を行っております。



調査風景

## USBカメラを使用した動体検知カメラの作成について

農家・林家の方が気軽にできる業務のITC化の一例として、USBカメラを利用した動体検知カメラの作成について、来月以降、当センターのホームページにて紹介をいたします。

この動体検知カメラを用いて、倉庫、機材置き場及び駐車場の監視が可能となります。更に電源の確保方法を工夫することにより、野外への持ち出しも可能となります。

使用機材として、ロジクール社製USBカメラC270及び教育用コンピュータとして開発されたRaspberrypi4を選定しました。

これらの機材は、現時点で、比較的安価な価格で確保できること、ユーザーが多く、情報収集が容易であることから採用したところです。

来月以降、OS及びソフトウェアのインストールから設定ファイルの更新方法等、丁寧に紹介していく予定としております。



USBカメラ（ロジクールC270）



Raspberrypi4(4GB版)